



自動車向けサイバーセキュリティの教育オンデマンドセミナーサービス WiZnAR Secure ユーザーエクスペリエンスレポート

株式会社 RYODEN
デバイスシステム事業本部 第三技術部 第二技術グループ

池田 紗織 様

●インタビュー：株式会社ヴィッツ 藤井

2023年9月に株式会社ヴィッツは自動車向けサイバーセキュリティの教育オンデマンドセミナーサービス「WiZnAR Secure (ウィズナーセキュア)」をリリース致しました。

本日は、WiZnAR Secure の有効性や受講された率直な感想をユーザーの株式会社 RYODEN デバイスシステム事業本部 第三技術部 第三技術グループの池田様に伺いました。

藤井：WiZnAR Secure をご利用いただきありがとうございます。
RYODEN様は幅広い事業分野でご活躍されていますが、なぜ商社であるRYODEN様がWiZnAR Secureの導入に至ったのでしょうか？

池田：昨年創立75周年を迎えた当社は、FAシステム、冷熱システム、ビルシステム、エレクトロニクスの4つのビジネスを基幹事業に、これらの事業で培った技術とICT技術を融合した6つのネットワーク事業を構築しています。さらにスマートアグリだったりヘルスケア分野にも事業を展開しています。
その中で私が担当する自動車業界では、自動車のネットワーク化が進むにつれて、サイバー攻撃のリスクも高まっており、サイバーセキュリティの重要性が増しています。
商社として、こういった市場のニーズに迅速に対応し、関連分野でのビジネスを拡大していくことが必要になっており、そのためにはOEMやTier1、Tier2のお客様に対して、サイバーセキュリティに関する最新の知識と技術情報を提供することが、必要だと考えています。
しかし、私にはサイバーセキュリティの法規対応について詳しい知識がなかったのと、お客様のお困りごとを把握するためにも理解したいと思いがちで、導入を決めました。

藤井：そうなんですね。実際導入するにあたり、上司の方などから反対はありましたか？

池田：特に反対はありませんでした。
背景としまして、1つ目がサイバーセキュリティにおける専門的な知識を効率的に習得できる点と、2つ目はまずは私一人分1ライセンスの契約という点でライトな価格で導入できる、1ライセンスであれば1回外部セミナーに参加するのとあまり変わらない価格設定なので導入ハードルはそこまで高くなかったです。

藤井：それはよかったです。貴社以外にもまずはお試しとして1ライセンス単位で導入いただく企業様も多くなりそうです。最初のハードルを下げるのができたのは良かったなど改めて思いました。
実際に使っていたら、規格に対する理解は深まりましたでしょうか？

池田：正直規格に対する知識が豊富というわけではなかったのですが、スライドを利用した丁寧な解説動画になっており、初心者の私でも非常にわかりやすかったです。
特に私がお話をするお客様の知りたいことは「そもそもサイバーセキュリティ対策っていつまでに、何をしなくちゃいけないのか」というわりと前段の部分だったりするので、サイバーセキュリティの業界動向はもちろん、規格そのものの説明や背景などが懇切丁寧にコンテンツになっているのは非常に親切だなと思います。
さらに、開発者様向けには、「規格対応をするためには具体的に何をすべきか」の目線で脅威分析や脆弱性分析の手法についてもサンプルを用いて説明してあり、実際に開発をされている人にも有効だと思いました。
ちなみになんですけど、実務の分析作業のサポートがあるのかお伺いしてもよろしいでしょうか？

藤井：WiZnAR Secureのサービスではないのですが、弊社のサイバーセキュリティ支援業務の1つとして、脅威分析や脆弱性分析の支援も行っています。

池田：実務の支援もご相談できるのは、非常にありがたいです。

藤井：ありがとうございます。最後に、池田さんの周りの方やお客様にお勧めしたいポイントなどあれば教えてください。

池田：二つあります。
一つ目は最新自動車サイバーセキュリティの動向から具体的な対策事例までを網羅的にかつ効率的に、そしてライトな価格で学習出来るのは推しポイントだと思っています。
二つ目は、1回約30分程度のボリューム感なので教えて時間を取って学習に取り組みずとも、「今少し時間あるから観てみよう」というような、隙間に当て込む学習が出来るのが個人的にはやりやすさにつながっています。
私の場合、外出から想定した時間よりも早く帰ってきたときに見たり、何度も見返すことが出来るので、お客様に業界動向を説明する前に確認のために見えています。

藤井：本日は長時間にわたるインタビューにご協力いただき、ありがとうございました。今後も皆様からの貴重なご意見を反映してまいります。



法規対応に必要な「サイバーセキュリティの教育カリキュラム」がバッチリ整います！



コスバ抜群！

日程調整不要のサブスク型動画セミナーだから毎年かかる教育費を抑えて持続可能な教育体制を整えます。

いつでも・どこからでも・何度でも受講可能！少人数からでも始められます。

超実践的セミナー

わかるじゃなくてもできる！開発に使える知識が身に付きます。

自動車メーカーとサプライヤ、どちらにも開発支援をしているヴィッツの豊富な実績を基にした、開発者のための「現場で使える」セミナーです。

しっかり身につく！

わかりやすい解説で知識がしっかり身に付きます。

外部セミナーでも豊富な実績のある講師が解説しているため、受講者からは「わかりやすい！」と沢山の声をいただいております。

■ 価格

プラン数	ライセンス数	年間費用(税別)
Essential プラン	1	10万円
	10	50万円
Business プラン	20	80万円
	30	120万円
	50	150万円

※部署異動などを目的に購入ライセンス数に応じた付け替えサービスあり(回数制限あり)

■ カリキュラム

第1回	自動車業界のサイバーセキュリティ動向の解説
第2回	UN-R155 サイバーセキュリティ法規の概要
第3回	ISO/SAE 21434の解説① CSMS 構築とCS プロジェクトの管理
第4回	ISO/SAE 21434の解説② 脅威分析とCS コンセプトの作成方法
第5回	ISO/SAE 21434の解説③ 製品開発と脆弱性分析の実施方法
第6回	ISO/SAE 21434の解説④ 製品開発後フェーズへの要求事項
第7回	P-SIRTの体制とプロセスの構築方法
第8回	自動車に求められるサイバーセキュリティ対策技術

※1講座あたり、約30分

第9回	AUTOSAR Secure On-board Communication 仕様の解説
第10回	脅威分析の実施方法
第11回	脆弱性分析の実施方法
第12回	サイバーセキュリティリスクアセスメントの実施方法
第13回	サイバーセキュリティアーキテクチャ設計の実施方法
第14回	暗号鍵の管理方法の解説
第15回	サイバーセキュリティ評価の方法
第16回	サイバーセキュリティ監査・アセスメントの方法



〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

株式会社 RYODEN は、4つのコア事業(FA・冷熱・ビル・デバイス)でCX(カスタマーエクスペリエンス)提案によるお客さまの新たな価値創出を目指すとともに、6つの新たなマネージメントサービスプラットフォームを構築し、スマートアグリ事業、ヘルスケア事業という新分野にドメインを広げ、RYODEN だからこそできるチャレンジを展開しております。



〒460-0004 名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル

株式会社ヴィッツは、ソフトウェア開発を主力事業とするエンジニア集団です。車載、家電、産業機器などのソフトウェアの豊富な開発実績と機能安全やサイバーセキュリティなどソフト開発に必要な周辺技術を保持しております。